

12 月 4 日常任委員会要求資料

- 1 「開国博 Y150」会場計画の変遷
- 2 「開国博 Y150」企画内容の変遷
- 3 「開国博 Y150」当初財政計画
- 4 「開国博 Y150」の事業規模を決定した際の都市経営執行会議資料と議事録
- 5 市費 82 億円を決定した際の積算
- 6 「開国博 Y150」会場別事業内容及び事業費
- 7 「開国博 Y150」の主な発注状況
- 8 公式記念品売店売上実績及び協会収入
- 9 「開国博 Y150」の事業効果一覧
- 10 有料入場者数増加策一覧
- 11 「開国博 Y150」計画事業収支と収支見込の差について
- 12 「開国博 Y150」収支見込の未確定額 25 億円の内訳
- 13 開港 150 周年記念事業の総括にかかる経費

開国博 Y150 会場計画の変遷

1. 基本計画（平成 18 年 6 月 2 日・横浜市）

- ・ベイサイドステージ（臨港部）
会場想定：みなとみらい地区、日本大通り、大さん橋・象の鼻地区、
山下公園などの臨港エリア
- ・ヒルサイドステージ（丘側）
会場想定：ズーラシア未整備地区（アフリカサバンナ予定ゾーン）など

2 実施計画（平成 19 年 5 月 22 日・横浜市）

- ・テーマステージ : ①みなとみらい 21 新港地区 8 街区
- ・ベイサイドステージ : ①パシフィコ横浜展示ホール、②赤レンガ倉庫イベント広場、
③大さん橋ホール
- ・特別エリア : ①横浜駅周辺から山手地区までのエリア（マザーポートエリア）
- ・ヒルサイドステージ : ①横浜動物の森公園（ズーラシア未整備地区）

3 実施設計概要発表時（平成 19 年 10 月 11 日・横浜開港 150 周年協会）

- ・ベイサイドエリア : ①新港地区 8 街区、②赤レンガ倉庫、③象の鼻地区、
④大さん橋ホール、⑤新港会場、⑥海上会場
- ・マザーポートエリア : ①横浜駅周辺～山下・山手地区
- ・ヒルサイドエリア : ①横浜動物の森公園（ズーラシア未整備地区）

4 実施設計（平成 20 年 3 月 31 日・横浜開港 150 周年協会）

- ・ベイサイドエリア :
有料会場／①新港 8 街区、② 7 街区、③新港ふ頭施設
周遊会場／①赤レンガ倉庫、②象の鼻地区、③大さん橋ホール、④山下公園
- ・マザーポートエリア :
- ・ヒルサイドエリア : 横浜動物の森公園（ズーラシア未整備地区）

■ 「開国博Y150」 企画内容の変遷

資料2

【ベイサイド】

	実施計画プロポーザル提案【平成18年11月】	実施計画【平成19年5月】	実施設計プロポーザル提案【平成19年7月】	平成19年10月11日発表(600日前)	平成20年実施設計【平成20年3月末】
会期	4月25日～9月6日(135日間) 展示ホールのみ6月8日～9月4日(89日間)	5月1日～9月27日(150日間) *コンテンツにより期間が異なる	4月29日～9月27日(152日間) *コンテンツにより期間が異なる	4月28日～9月27日(153日間) *赤レンガ5/9～、象の鼻6/2～	4月28日～9月27日(153日間) 象の鼻6/2～
来場者数	集客目標:450万人～550万人 *プロポーザル公募条件の集客目標はベイ300～350万人	集客目標:500万人以上(関連イベントを含む)と記載	目標入場者数: ベイ 約470万人(博報堂JV提案)	有料入場者数(予定):500万人	有料入場者数(予定):500万人
8街区	【横浜開港記念村】 ・横浜開港記念村ストリート ・開港150ハーバーステージ ・開港150周年オフィシャルグローバルテラス ・THE横濱座	・情報発信・歴史コンセプトを体感するエンターテイメント演出 ・フューチャーセイル150 ・交流&レスト、ワークショップ ・ホスピタリティ	・バーチャルシアター(浦沢直樹×手塚治虫) ・歴史ミュージアム ・フューチャーセイル ・メディアサテライトスタジオ ・ステージ ・ホスピタリティ	・横浜物語(展示・シアター) ・文化交流ステージ ・森を使ったテーマ展示 ・ホスピタリティ ・大型スクリーン	・よこはま物語(展示・シアター) ・横浜企業の展示&出店 ・ラ・マシーンの展示&ショー ・ホスピタリティ
赤レンガ		・国際交流・港町イベント ワールドハーバーマーケット 世界港伝統芸能ステージ ・スポーツ系ミュージアム、スクール等 ・横浜音楽館(ライブハウス)	・ワールドポートマーケット(5月～) ・ナショナルポートステージ(5月～) ・ドリームアカデミー・オブ・スポーツ(7月～8月) ・ライブコンプレックス(6月)	・ペリー饗応の間&ポーハタン号甲板の再現と接客料理の提供(5月～) ・多文化国際交流ゾーン(5月～)	・5カ国・5都市等バザール(5月～) ・都市交流イベント ・オフィシャルショップ
大さん橋ホール	【横浜クリエイティブ・アクト】 ・横浜ポセイドンシアター ・横浜ワールドクリエイターズ・ワークショップ ・横浜アンデパンダン・パーティー ・横浜コンテンツポート ・横浜ナイトファンタジア ・横浜Artレストラン	・キッズ系イベント(体験学習型展示) ・環境系イベント(健康、バイオ、ハイテク等テーマの企業参加型企画)	・キッズ・アドベンチャー(7月～9月上旬) ・アートプロムナード(5月～6月)	・海洋都市Yシアター	・市民参加イベント ・FUNEプロジェクト ・区民イベント
象の鼻	なし	なし	なし	・ステージイベント(6月～)	・アートワーク展示 ・トリックアート ・ホスピタリティスペース
新港会場	なし	なし	なし	・最先端映像シアター ・子どもエデュケーション企画	・最先端映像シアター ・子どもエデュケーション企画(企業出展)
海上会場	なし	なし	・ミュージック・エイド・コンサート(7月4日・5日)	・テーマカフェ ・ライトアップ演出	なし
7街区	なし	なし	なし	なし	・未来シアター(海洋都市Yシアター) ・アースバルーン ・ステージイベント
山下公園	なし	なし	なし	なし	・氷川丸との連携 ・黒船来航
マザーポートエリア	なし	特別エリア	・携帯ナビゲーション ・エコバス回遊ツアー ・市民メッセージベンチ	・地域イベントとの連携 ・市民参加による回遊ルートマップの作成	・地域イベントとの連携 ・市民参加による回遊ルートマップの作成
パシフィコ展示ホールC	【横浜芸術フェスティバル】 ・横浜アジア映画祭(14日間) ・横浜アジア音楽祭(3日間) ・YOKOHAMA GIRLS COLLECTION(7日間)	・アート系イベント アート作品展、新進作家紹介等	・エコロジー・エンジン・エキシビジョン(6月～8月)	なし	なし
パシフィコ展示ホールD	・シルク・ド・ヨコハマ(40日間)	・なし(海のエジプト展は公表資料からは削除)	なし	・なし(海のエジプト展は別途調整)	・なし(海のエジプト展は別途調整)

【ヒルサイド】

	実施計画プロポーザル提案【平成18年11月】	実施計画【平成19年5月】	プロポーザル提案【平成19年7月】	平成19年10月11日発表(600日前)	平成20年実施設計【平成20年3月末】
内容	・テーマエンターテイメント ・シンポジウム、ダイアログ、コンサート等 ・市民参加展示・ワークショップ	・竹の海原 ・市民創発イベント ・エンターテイメントショー ・デイリートーク&パフォーマンスショー	・竹の海原 ・市民創発イベント ・エンターテイメントショー ・デイリートーク&パフォーマンスショー	・竹の海原 ・市民創発イベント ・エンターテイメントショー ・デイリートーク&パフォーマンスショー	・竹の海原 ・市民創発イベント ・集客コンテンツ
来場者数	動員目標:50万人		予想入場者数:50万人	有料入場者数(予定):50万人	有料入場者数(予定):50万人
会期	6月2日～9月27日(118日間)	7月4日～9月27日(75日間) (ズーラシア休園日は休業)	7月4日～9月27日(75日間) (ズーラシア休園日は休業)	7月4日～9月27日 (日数記載なし)	7月4日～9月27日(86日間) (ズーラシア休園日も開催)

開国博 Y150 当初財政計画の策定

財団法人横浜開港 150 周年協会では、プロデューサー室を中心に事業に必要な各項目について積算し、平成 19 年 11 月 1 日に当初財政計画を策定しました。

(1) 基本的な考え方

- ・有料経営する過去の大型イベントの財政については、固定財源である「シードマネー(公的資金)」のほか、流動財源である「入場料収入」及び「協賛金収入」などで構成する。
- ・イベントの認知度や魅力度、社会経済状況等による影響を受け、事業規模自体が変動する。
- ・したがって、開国博 Y 150 の当初財政計画は、十分な安全率を考慮した上で策定する。

(2) 財政計画母数の算定

- ・一般的には、目標値に対して、10~20%の安全率を乗じた数値を計画母数(入場者数、前売入場料収入等)として用いて、損益分岐点を設定する。
- ・今回策定した当初財政計画においては、策定時点ではイベントの内容等に不確定な部分もあるため、安全率 20%を採用する。

(3) 協賛金の算定

- ・一般的に、総事業費(イベント制作費、広報宣伝費及び事務費)に対する現金協賛比率は、8~10%とする。
- ・今回の現金協賛比率は 10%とし、それに現物協賛見込額を加え、協賛金目標額を 25 億円と算定する。
- ・このため、安全率を 20%見込み、協賛金見込額を 20 億円(25 億円×80%)とする。

参考

- ・現金協賛額：19 億円 = 総事業費 186 億円(流動財源が増加した場合総事業費の最大値) × 10%
- ・現物協賛：6 億円 = 大型映像装置、出店料等(一般的には協賛総額の 1/4 程度)

開港150周年記念テーマイベント当初財政計画案(損益)

収入	(単位:百万円)			
	100%	90%	80%	70%
公的資金	8,777	8,777	8,777	8,777
テーマイベント	5,500	5,500	5,500	5,500
広報宣伝	2,233	2,233	2,233	2,233
事務費	1,044	1,044	1,044	1,044
協賛金	4,203	3,799	3,703	2,992
テーマイベント	2,500	2,250	2,000	1,750
(含む協賛管理費)	(2,875)	(2,588)	(2,353)	(2,013)
広報宣伝	1,536	1,382	1,229	1,075
賛助会費・寄付等	167	167	167	167
入場料収入	5,625	5,063	4,500	3,938
テーマイベント	5,625	5,063	4,500	3,938
(含む販売手数料)	(7,035)	(6,329)	(5,628)	(4,923)
広報宣伝	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	18,605	17,639	(16,980)	15,707
(含む管理費・手数料)	20,390	19,243	18,461	16,955

収入100%~70%
協賛金・入場料収入を最大100%とし、100%~70%で収入を検討。(公的資金は変動しないものとして算出)
協賛金収入の広報宣伝のみ100%の数字を採用。
条件面等未確定な面が多い為、現状、協会としては、80%の数値を収入目標の数値として採用。

支出	(単位:百万円)
Y+150はじまりの森	2,130
新港地区8街区	2,130
開国・開港の街	500
赤レンガ広場イベント	450
赤レンガ・象の鼻(市民創発)	50
開国ステージY+150	400
赤レンガ・象の鼻ステージ	400
横浜のゆめ・地球の希望	500
海上フロート	500
横浜クリエイティブ・キッズ	600
新港会場	600
海洋都市Yシアター	600
大棧橋ホール	600
ベイサイドエリア内対策費	450
ベイサイドエリア	450
マザーポートエリア内対策費	200
マザーポートエリア	200
ベイエリア運営管理費	800
ベイサイドエリア合計	6,180
ヒルサイドエリア市民創発	2,500
スーラシア未整備地区	2,500
ヒルサイドエリア合計	2,500
その他協会イベント	245
DO・RA・MA・YOKOHAMA150	45
キャンドルカフェ	50
FUNEプロジェクト	150
その他協会イベント合計	245
テーマイベント全体運営管理費	8,055
会場使用料	300
チケット印刷費	200
チケット販売センター運営費	400
情報センターシステム構築費	500
ボランティアセンター運営費	400
交通輸送対策費	800
製作運営管理費(プロデューサー委託費・保険等)	475
広報宣伝費	3,769
運営事務費	1,211
(協賛管理費・販売手数料)	(1,481)
運営管理費合計	8,055
合計	(16,980)
(協賛管理費・販売手数料を含む総合計)	18,461

収入		(単位:百万円)
公的資金収入	8,777	
協賛金収入	4,056	
入場料収入	5,628	
収入合計	18,461	
運営原価		
ベイサイドヘリア	6,180	
ヒルサイドエリア	2,500	
その他	245	
運営原価合計	8,925	
収入総利益	9,536	
運営管理費		
会場使用料	300	
チケット印刷費	200	
チケット販売センター運営費	400	
情報センターシステム構築費	500	
ボランティアセンター運営費	400	
交通輸送対策費	800	
製作運営管理費	475	
広報宣伝費	3,769	
運営事務費	1,211	
協賛管理費	353	
チケット販売手数料	1,128	
運営管理費合計	9,536	
経常利益	0	

1. 協賛金の根拠

イベント内容等不確定な面が多い為、協会としては、2,500百万円×80%=2,000百万円をテーマイベントの協賛金目標として設定。
 事業説明会(協賛金説明会)へ東京会場約300社(10/24)・横浜会場約120社(10/31)合計約420社の参加があった。
 現在、協賛金の呼びかけは、特別協賛参加(概ね5億円)・一般協賛参加A(概ね1億円から5億円)・一般協賛参加B(概ね10百万円から1億円)で行っている。
 事業説明会参加企業の1割程度の企業のみが協賛参加であったとしても、
42社(参加企業の1割)×50百万円(一般協賛参加Bの平均額)=2,100百万円の協賛が見込まれる。
2,100百万円 > 2,000百万円(目標を上回る協賛金)
 また、現在(10/31)の賛助会員も527社(申込みベース約600社)あり、事業説明会参加者と一部重複するが、協賛金参加者の潜在能力も十分にある。
以上により、テーマイベントの協賛金収入2,000百万円は妥当と判断する。
 広報宣伝の協賛金は、現状、厳しい状況にあるが、執行管理を厳格に実施すれば、公的資金の追加負担が発生するものではないことから、事業本部の要請である100%の金額を目標に設定。

2. 入場料収入の根拠

種類	区分	前売販売			当日販売			全期間				
		全体比率(%)	販売枚数(千枚)	料金(円)	合計額(千円)	全体比率(%)	販売枚数(千枚)	料金(円)	合計額(千円)	全体比率(%)	販売枚数(千枚)	合計額(千円)
ベイ1日	大人	33.7%	1,354	1,750	2,369,500	30.4%	973	2,200	2,140,600	64.1%	2,327	4,510,100
	シニア	4.9%	285	1,200	342,000	4.7%	208	1,600	332,800	9.6%	493	674,800
	中人	0.9%	71	900	63,900	1.5%	97	1,100	106,700	2.4%	168	170,600
	小人	0.3%	71	300	21,300	1.0%	112	600	67,200	1.3%	183	88,500
	小計	39.8%	1,781		2,796,700	37.6%	1,390		2,647,300	77.4%	3,171	5,444,000
Y150パスボ	大人	1.8%	18	7,200	129,600					1.8%	18	129,600
	シニア	0.3%	4	5,000	20,000					0.3%	4	20,000
	中人	0.1%	2	4,000	8,000					0.1%	2	8,000
	小人	0.0%	1	1,700	1,700					0.0%	1	1,700
	小計	2.3%	25		159,300					2.3%	25	159,300
ベイヒルセット	大人	15.4%	451	2,400	1,082,400					15.4%	451	1,082,400
	シニア	2.4%	95	1,800	171,000					2.4%	95	171,000
	中人	0.4%	24	1,300	31,200					0.4%	24	31,200
	小人	0.2%	24	700	16,800					0.2%	24	16,800
	小計	18.5%	594		1,301,400					18.5%	594	1,301,400
ヒル1日	大人					0.7%	60	800	48,000	0.7%	60	48,000
	シニア					0.4%	50	600	30,000	0.4%	50	30,000
	中人					0.3%	50	400	20,000	0.3%	50	20,000
	小人					0.1%	40	200	8,000	0.1%	40	8,000
	小計					1.5%	200		106,000	106.0%	200	106,000
ヒルパスボ	大人					0.1%	2	5,000	10,000	0.1%	3	10,000
	シニア					0.1%	2	3,700	7,400	0.1%	3	7,400
	中人					0.1%	2	3,000	6,000	0.1%	3	6,000
	小人					0.0%	1	1,400	1,400	0.0%	2	1,400
	小計					0.4%	10		24,800	0.4%	10	24,800
	合計	60.5%	2,400		4,257,400	39.5%	1,600		2,778,100	100.0%	4,000	7,035,500

入場者数500万人を計画しているが、入場料収入の算出においては、500万枚×80%=400万枚で算出、(前売販売も300万枚を計画しているが、300万枚×80%=240万枚で算出)
 入場料収入は、上記表の合計額7,035百万円が見込まれる。
 協会としては、現状イベント内容等に未確定な面が多い為、約7,035百万円×80%=5,628百万円(手数料支払前)を収入目標に設定。手数料差引き後4,500百万円に設定。
 入場チケット販売枚数及び販売金額にて80%の減価を実施しており、目標設定としては、固い数字となっている。
よって、入場料収入4,500百万円は妥当と判断する。

都市経営執行会議資料
平成19年12月4日
開港150周年・創造都市事業本部

開港150周年記念事業について

【論点】

テーマイベントの実施設計をふまえた事業規模の考え方について

事業規模（H19-21）

約150億円

・内訳	<u>記念テーマイベント</u>	<u>約120億円</u>
	<u>150周年記念式典</u>	<u>約5億円</u>
	<u>広報宣伝費</u>	<u>約25億円</u>
・財源	<u>公的資金(横浜市)</u>	<u>約78億円</u>
	<u>協賛金</u>	<u>約27億円</u>
	<u>入場料収入</u>	<u>約45億円</u>

リスク管理について

シードマネーを固定した上で、入場券収入・協賛金収入に、20%の安全率を乗じた数値を計画母数(入場者数、前売り入場料収入等)とし、損益分岐点を設定する。

入場料収入

- 入場料を1人当たり≒1,400円で算出。
- 入場者数500万人、
@1,400 × 500万 = 7,000百万円
- 現状では、7,000百万円 × 80% = 5,600百万円(手数料支払前)を収入目標とし、手数料差引き後4,500百万円に設定。

企業協賛 1

- 総事業費に対する協賛比率は8～10%が一般的であるが、本イベントについては、現金協賛比率 10%を採用するとともに現物協賛額を加えることにより、目標額を25億円と算定。
- 安全率20%を採用しているので、
 $25\text{億} \times 80\% = 20\text{億}$

企業協賛 2

○協賛目標

- 特別協賛参加(概ね5億円)を2・3社
- 一般協賛参加A(概ね 1億円から5億円)、一般協賛参加B(概ね 10百万円から1億円)を数社

- 第二次財政計画（2008年8～9月頃策定予定）において、前売り入場券販売状況や協賛獲得状況等を精査し、目標値に達しない場合は、事業計画の見直しを行うことで、公的資金の追加を回避する。

都市経営執行会議の概要

日時	平成19年12月4日(火)第30回執行会議 午前9時30分～午前11時45分
出席者	金田副市長、阿部副市長、佐々木副市長、野田副市長、技監、都市経営局長、行政運営調整局長、市民活力推進局長、都市経営戦略室長、都市経営戦略担当理事、中区长
欠席者	なし

議題2:開港 150 周年記念事業について(開港 150 周年・創造都市事業本部)

【局案の内容】

開港 150 周年記念事業について、次の事業規模の考え方で検討を進める。

<事業規模> 約150億円

(内訳) 記念テーマイベント 約120億円/150周年記念式典 約5億円/広報宣伝費 約25億円

(財源) 公的資金(横浜市) 約78億円/協賛金 約27億円/入場料収入 約45億円

<リスク管理について>

- ・ 公的資金を固定し、協賛金・入場料収入に 20%の安全率を乗じた数値を計画母数とする。
- ・ 2008 年8～9月に策定予定の第二次財政計画において、協賛金等の状況により、事業計画の見直しを行い、公的資金の追加を回避する。

【主な意見等】

- ・ 第二次財政計画策定の時点では、事業がかなり進捗しており、計画の大幅な見直しは難しいのではないかと。
→入場券発売後にイベントの見直しはできないが、運営管理部門や広報活動は見直すことができると考えている。
- ・ 事業の実施段階での費用増加を抑えるために、進行管理を厳しく行っていく必要がある。そのためにも、事業本部と横浜開港 150 周年協会の役割・責任を一層明確にして進めること。
- ・ 集客計画を確実なものとするためにも、情報を十分に周知し、各区局が共通認識を持ち、連携して事業展開することが重要である。
- ・ 企業協賛を依頼する場合に、協賛金に見合うメリットを考えておく必要がある。

【決定事項】

- ・ 局案のフレームを前提に進めることを了承。
- ・ 意見を踏まえ、庁内の合意を形成するとともに、各区局が一体となって取り組めるような仕組みづくりを検討すること。

市費82億円を決定した際の積算

1 事業費の積算の経緯

コアイベント実施事業者の選定にあたっては、プロポーザル方式（別項参照）を採用し、事業費の提案もさせましたが、実際の事業費の積算にあたっては、プロポーザルにより選定した事業者の提案に、協会とプロデューサーが検討を加え、決めたものが「当初財政計画案（H19.11.1）」です。

横浜市は、協会から提出された「当初財政計画案」について、次のような検討を行い、平成19年12月4日の都市経営執行会議を経て事業規模と市費の投入額を決定しました。

<検討内容>

- 協会の当初財政計画案は20%の安全率を見ているが、公的資金以外の入場料収入や協賛金収入は流動財源であり、当初財政計画時点での安全率としては適当である。
- テーマイベント費は事業の根幹を成すものであること、また、市費の割合を半分以下にすることを目指していたが、協会の当初財政計画案が、120億円のテーマイベント費の45%であるため、結果的に減額せず、広報費に着目した。
- 平成21年は、JRデスティネーションキャンペーンの展開が決定しており、また、市の広報媒体を活用することが可能なため、協会と協議の上、市費の割合を圧縮した。
- 人件費などの事務費は、企業から協会職員として、人材の派遣を要請しており、その経過を踏まえて別途計上することとした。

事業費の推移(協会案)

	当初財政計画案	⇒	執行会議	⇒	20予算案	⇒	21予算案
事業費	16,980		14,500		15,700		15,700
市費	8,777		7,300		8,300		8,200
協賛金等	3,703		2,700		2,900		3,000
入場料収入	4,500		4,500		4,500		4,500
事業費の内容説明	人件費等運営事務費を含む		人件費等運営事務費は別途精査		人件費等運営事務費を含め計上		予算編成方針を踏まえ市費1億円縮減

(単位:百万円)

【参考：事業規模決定の経緯】

- 平成 19 年 6 月 1 日 コアイベント実施業務委託事業者選定申込受付
(代理店から提案書提出)
- 7 月 13 日 コアイベント実施事業者プロポーザル (代理店の提案審査)
- 8 月 27 日 コアイベント実施事業者決定 (理事会報告)
- 以 降 協会、プロデューサー、代理店による実施設計策定作業
- 10 月 11 日 600 日前「記念テーマイベント事業発表会」
(主催：150 周年協会)
- 11 月 1 日 150 周年協会「記念テーマイベント当初財政計画 (案)」策定
- 12 月 4 日 都市経営執行会議で記念テーマイベントと記念式典の事業規模
(150 億円) および市費投入額 (78 億円) 決定
- 平成 20 年 1 月 30 日 20 年度予算案発表、予算議案上程
- 3 月 31 日 記念テーマイベント実施設計策定

【参考：プロポーザル】

公募または指名により複数の者 (受託希望者) からその目的に合致した企画を提案してもらい、その中から企画・提案能力のある者を選ぶ方式が「プロポーザル方式」である。設計業務では、「コンペ方式」が「設計書 (企画)」を選定するのに対し、「プロポーザル方式」は「設計者 (企画会社)」を選定するという違いがある。

[資料-6] 「開国博Y150」会場別事業内容及び事業費

1 開国博Y150の有料会場におけるコンテンツ

項目	内容	事業費
ベイサイドエリア		
はじまりの森(8街区)	[テーマ] 横浜の歴史・創造都市横浜 「クリエイティブシティ・ヨコハマ」の未来を象徴する「Y150」の中心的会場	[4,383百万円]
ENEOSラ・マシ	フランスのアートスペクタル劇団「ラ・マシ」の巨大くものパフォーマンスを毎日5回実施。小学生以下のパイロット席への搭乗体験も好評を博す。	[659百万円]
横浜ものがたり	ペリー来航や横浜から日本全国に広がった文化、産業など、開国、開港時代の横浜について映像や体験型展示で紹介。	[301百万円]
ENEOS未来のエネルギー館	大切なエネルギー資源と私たちの地球をテーマにした、遊び学べる体験型パビリオンの展開。	[100百万円]
		その他会場整備 [1,369百万円]
		間接費 [1,086百万円]
		事務費・広報費 [868百万円]
[メインコンテンツ以外の催事等] ・たまぐすの学び舎	<ワークショップの運営は出展団体負担> 企業・各種団体等に「学ぶ、体験する」をテーマとしたワークショップ会場として提供。	
・ENEOSナイトピクニック	<協会出費> ムービングライト、LED装飾等を配置し、森の小動物の鳴き声をBGMにした夜間演出。	
・黒船レストラン(フードコート)	<レストラン基礎部分協会負担・運営は各出展社負担> 「ベイサイドデリ(麒麟)」「チャイナタウンデリ(ハンケイ)」として、歴史ある横浜名物や中華街有名店のメニューをファーストフードスタイルで提供。	
・スペシャルナイト	<協会負担> スペシャルライブを実施。(6月12日から毎週金曜、土曜日18:15から21:00まで3部構成で、ジャズ、ラテンの生ライブ実施。合わせて、19時のラ・マシパフォーマンス後に、演奏者たちとラ・マシとのコラボレーションライブパフォーマンスを実施。)	
・横浜ショーケース	<店舗部は協会負担・運営は各出展社負担> 横浜を代表する名品名産の企業協賛出店ブース。タカナシ乳業(馬車道アイス)・崎陽軒(シューマイ)・ありあけ本館(ハーバー)・KOHKA(グッズ)	

資料6

項 目		内 容	事 業 費
	・たねまる公式記念品ショップ	<内装及び運営は出展者負担> 公式キャラクターのたねまるグッズやはじまりの森限定キャラクターのペリーテイトくんグッズに係るぬいぐるみ・生活雑貨・菓子類などを販売。	
	・FUJI FILMフォトブース	<内装及び運営はFUJI FILMが負担> 企業協賛ブースとして出店。記念撮影用背景セットのブースを設営。	
	・黒船トリックアート	<協会負担> 6月2日より、象の鼻会場と同サイズのトリックアートを増設。 魚眼レンズ展望台、3Dメガネを用意し、トリックの効果を強調。	
	・「かながわの開港都市横浜」DVD上映	<ハードは協会負担・ソフトは「(財)はまぎん産業文化振興財団」提供> (財)はまぎん産業文化振興財団制作の横浜開港と日本近代化を綴った映像を大型ディスプレイで上映。	
	・フェイスペインティング	<日本フェイスペインティング協会負担> 5月23日より、毎週土曜、日曜、祝日に、日本フェイスペインティング協会から自主参加で実施。(1回500円)	
トゥモローパーク(7街区)		【テーマ】未来の横浜と地球の未来へのメッセージ わたしたちの明日を共感・体感できるエンターテインメントゾーン	[3,553百万円]
	Y150未来シアター「BATON」	俳優の実際の演技を特殊な技法でアニメ化したSFファンタジー。岩井俊二プロデュースによる近未来をテーマにした3部作構成。市原隼人、上戸綾等多彩なキャストで話題づくりに貢献。	[997百万円]
	Y150トゥモローパークステージ	横浜市内外の学生の演奏を始め、プロアマを問わずイベント会場に相応しい様々なパフォーマンス、ライブやかわいい動きで会場を魅了する「たねまるショー」を連日実施。「たねまるショー」を通して、子供たちに横浜の先進性と受容力を想起させた。	[166百万円]
	アースバルーン「HOME」	JAXA向井千秋氏監修の「HOME」を直径20mの球体上で上映。地球環境の美しさと大切さ、地球再生に向かうストーリーを光と音と映像で演出。	[412百万円]
			その他会場整備 [429百万円]
			間接費 [861百万円]
			事務費・広報費 [688百万円]

項目	内容	事業費
<ul style="list-style-type: none"> ・FMヨコハマ サテライトスタジオ「STUDIO SEAGULL Y150」 ・スリーエフ Y150店 ・ドライミスト ・風力発電 ・パーゴラ ・壁面緑化 ・キッズボート ・大道芸 ・トゥモローパーク縁日 ・平成21年度カーボンオフセット年賀寄附金助成事業 	<p><FMヨコハマ負担> 専属DJと、公募で選出されたY150インフォメーションレポーター「H.A.M.A.Crew」たちが、連日楽しい情報を発信。</p> <p><スリーエフ負担> 通常のコンビニエンスストアでの品揃えとほぼ同等で展開。</p> <p><設置は協会負担・機材は企業協賛> 25 を超えると自動噴霧し、25 を下がる自動停止する設定で運転。</p> <p><設置・機材共 京三製作所の企業協賛> 会場内に、3機設置。</p> <p><設置・部材提供共 横浜建設業協会の企業協賛> 周囲柱周り5箇所に樽型のプランターを設置、(つるの草花主体)ゴーヤを栽培。丸太切り株型、半割り丸太型の椅子10基(約20席)を設置。</p> <p><設置・部材共 サカタのタネ等の企業協賛> ポット型の壁面緑化を設置。植物は、スイショウラン、リゅうのひげ、アイビーの3種類。</p> <p><協会負担> 7月18日(土)から8月31日(月)の夏休み期間、手漕ぎボートで遊べるプールを設置。</p> <p><協会負担> 6月以降ほぼ連日実施。</p> <p><協会負担> 8/10(月)、11(火)、22(土)、23(日)の4日間開催。射的、輪投げ、ヨーヨーすくい、人形すくい等。</p> <p><郵便事業株式会社助成> 7月22日(水) 10:45~11:30 石原良純さんをゲストにお呼びして日食を観察。</p>	
<p>ドリームフロント(新港地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーハイビジョンシアター NISSAN Y150ドリームフロント「PIVO LAB.」、「コトバパーク」 JAXA 	<p>【テーマ】子どもたちとを感じる未来と想像力 最先端技術や環境への取り組みを、遊びながら学べる体験型プログラム満載のパビリオン</p> <p>NHKが研究開発しているスーパーハイビジョンを540インチスクリーンと22.2マルチチャンネルの音響設備で上映。高精細高解像度映像により、「躍動」「ギフト」の2本のコンテンツを連続上映。</p> <p>日産本社の横浜移転を契機に、「さらに地域とのつながりを大切にしたい」という想いと開国博Y150の「未来を創る」という趣旨が一致したことから、「地球への思いやり活動」の拡大をテーマとしたパビリオンを出展。</p> <p>宇宙航空技術研究開発機構の協力を通して、「世界天文年」に相応しい展示を実施。月周回衛星「かぐや」の映像やH-Aロケットの発射シーン、さらにRVT(再利用ロケット実験実機)や宇宙服の展示を実施。</p>	<p>[1,463百万円]</p> <p>[388百万円]</p> <p>[300百万円]</p> <p>[14百万円]</p>

	項 目	内 容	事 業 費
			その他会場整備 [124百万円]
			間接費 [354百万円]
	[メインコンテンツ以外の催事等]		事務費・広報費 [283百万円]
	ゾーン1(展示室4) = ウエイトニングゾーン(ドリームシップエリア) ・JAMSTECコーナー	<展示基礎は協会負担・展示、装飾は海洋研究開発機構提供> 「しんかい16500」をはじめとした海洋調査船の模型、映像およびパネルを展示。	
	・日産マリノスパネル、日産ブルーシチズンシップパネル	<日産による企業協賛> パネルの設置等。	
	・イベント・ドリームフロント紹介VTR	<日本ビクターによる企業協賛> モニター4基によるブースの紹介。	
	・たねまるショップ (4月28日～7月17日)	<運営は出展者負担> 公式キャラクターのたねまるグッズに係るぬいぐるみ・生活雑貨・菓子類などを販売。	
	・横浜FUNEプロジェクト (5月28日～9月21日)	<協会負担> 横浜FUNEプロジェクトで制作した船を10艘展示。 監修はアートプロデューサーの日比野克彦氏。	
	・横浜の海・未来の海ワークショップ (8月18日～9月6日)	<協会負担> 小さく切った色紙チップを水や波に見立て、ダンボールに1枚1枚貼っていくワークショップにより、来場者によるアートの海づくりを実施。また、灯台アートワークの特別奨励賞作品2基を展示。	

項 目	内 容	事 業 費
ヒルサイドエリア		
つながりの森	【テーマ】気づき、つながる、共感のステージ 豊かな自然の中で、人と人と、人と自然、人と地球などの様々な「つながり」を感じ、気づくことができる会場	[2,666百万円]
竹の海原	日本最大級の竹の大屋根「竹の海原」、基礎以外すべて竹で制作した「竹のパーゴラ」ほか、会場内で約2万本の市内産モウソウ竹を活用。なお、竹材にあたっては、市民参加の伐採からも調達。その他間伐材を床材に活用するなど、さまざまな環境配慮技術を採用。またそういった環境配慮技術や竹活用の意義等をわかりやすく会場内に掲示し、啓発促進のためにスタンプラリーで接触率を向上。	[1,411百万円]
		その他会場整備 [90百万円] 間接費 [642百万円] 事務費・広報費 [523百万円]
[メインコンテンツ以外の催事等] ・つながりのダイアローグ	<協会負担> さまざまな関係 = 「つながり」を創造するゲストによるトークを中心としたステージを47回実施。また、主な出演者はC.W.ニコル(作家、環境保護活動家、探検家)他	
・ヒルサイドに巨大バッタあらわる	<協会負担> 7月4・5日、8月1・2・8・9・15・16・22・23・29・30日、9月19・20・26・27日の15回実施。全長50mの巨大バッタと出演者約30人が行う野外パフォーマンス。演ずるのは横浜国立大学で誕生した劇団唐ゼミ と公募で集まった市民メンバーで構成される「飛蝗隊(ひこうたい)(代表:室井尚/横浜国立大学教授)。自然環境と人類をめぐる戦いと融和をテーマにした一大スペクタクルを展開。	
・セグウェイに乗ってヒルサイド体験	<協会負担> 8月1・7・8・14・15・21・22・28・29日、9月24・25・26・27日の13回実施。 参加者数:試乗会1,639人 会場内ツアー370人 次世代の移動手段セグウェイに乗ってヒルサイド会場を観覧。試乗会及び会場内ツアーを実施。	

項 目	内 容	事 業 費
	<p>・Memorial Rebirth in ヒルサイド <協会負担> 7月18・19日 9月20・21・22・23日の6回実施。 開催時間 11:00 15:00 (9月21日・22日・23日は、 19:00も開催) 1分間に最大1万個のシャボン玉を発生させるマシン50台を使い、アーティスト大巻伸嗣によるパフォーマンスの実施。参加者数最大約200名(1回)。</p>	
	<p>・竹灯籠 <協会負担・日本の竹ファンクラブ協力> 9月22・23・24・25・26・27日実施。実施時間 17:30～20:30。 横浜市内の竹林から伐採した竹を使用。午前中から公募市民とともに会場内の3,000本の灯籠の準備を行い、日没とともに火入れ。</p>	
	<p>・「かみなり大王ごろごろ」 <横浜市環境創造局実施> 7月4日～9月27日実施。 異常気象によるゲリラ豪雨を体験して、地球環境と下水道の大切さを学ぶ装置を設置。</p>	
【協賛社出展】 中越パルプ工業株式会社	<p>出展タイトル:「竹の紙をみる、さわる、あそぶ 竹mill」。8月4日～10日 実施。 中越パルプが里山を守るために竹を有効活用。竹パルプからの紙作りが体験でき、竹紙のノートや紙袋も用意。</p>	
横浜農業協同組合(JA横浜)	<p>出展タイトル:「横浜農業の実力」8月18日～24日 農村文化を伝える簡単な体験教室や、旬を迎える横浜産農畜産物を使ったゲームなどを日替わりで開催。</p>	
NEXCO東日本 横浜工事事務所	<p>出展タイトル:「高速道路を、エコロードに。」8月25日～31日実施。 約20年前から横浜横須賀道路や横浜環状南線などで続けている環境保全の取り組みを紹介。クイズ形式で学んでいただき、簡単な実験を通して最新の舗装技術や騒音防止技術を体感。</p>	
海洋研究開発機構(JAMSTEC)	<p>出展タイトル:「海と地球の研究所」9月8日～14日実施。 貴重な深海の映像や、深海生物の標本を展示。世界最高の有人潜水船「しんかい6500」や地球深部探査船「ちきゅう」、さらに地球温暖化の研究に貢献するスーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を詳しく紹介。</p>	

2 開国博Y150の無料会場を中心とした取り組み

項 目	内 容	事業費
市民参加		
つながりの森	[テーマ]気づき、つながる、共感のステージ 豊かな自然の中で、人と人と、人と自然、人と地球などの様々な「つながり」を感じ、気づくことができる会場	[1,015百万円]
市民創発プロジェクト	Y150つながりの森の市民創発プロジェクトは、「わたしからはじめるこれからの150年」をテーマに、公募によって集まった市民が1年以上に及ぶワークショップを経て、自然・環境・共生などのさまざまな分野にわたる180以上のプロジェクトが誕生。会期中、「竹の海原」や屋外の広場等で、対話・参加・体験などさまざまな手法を駆使したプログラムを連日にわたり開催。	[420百万円]
		その他会場整備 [0百万円]
		間接費 [391百万円]
		事務費・広報費 [204百万円]
横浜FUNЕプロジェクト (展示:大さん橋会場)	横浜港の歴史を彩ってきた実際の船をモチーフにダンボールなどの素材を使って150艘のFUNЕ(船)を制作するプロジェクト。 市民利用施設や中学校など127会場でワークショップを実施し、延べ18,000人を超える市民が参加。	[261百万円]
		事業費 [108百万円]
		間接費 [101百万円]
		事務費・広報費 [52百万円]
運営ボランティア	2,500名を超えるボランティアさんが下記の活動を実施。 ・案内サービス 会場マップなどの各種資料配布・会場案内等 ・環境美化活動 会場内の清掃サポート・ゴミ分別サポート等 ・迷子対応補助 一時保護の迷子のお世話・巡回注意喚起等 ・ボランティアセンター運営業務補助 ボランティアさんの受付や資料配布・ブログ記事の作成等	[230百万円]
		事業費 [155百万円]
		間接費 事務費・広報費 [75百万円]

項 目	内 容	事 業 費
プラットフォーム	<p>「Y150に何らかの形で参加したい」という市民に多様な参加機会とそのための情報を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜のイベントをエコにするネットワーク ・道志村間伐材・横浜の技プロジェクト ・横浜地域SNS「ハマっち！」 ・市民でつくるイベントナビ 	<p style="text-align: right;">[25百万円]</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: right;">事業費 [17百万円]</p> <p style="text-align: right;">間接費 [0百万円]</p> <p style="text-align: right;">事務費・広報費 [8百万円]</p>

項 目	内 容	事 業 費
ベイサイド市民協催 (赤レンガ会場・大さん橋会場)	日頃活動をしている140の団体が集い、展示・ステージイベントなどさまざまなプログラムを展開。4月28日～9月27日のうち75日間開催。	[167百万円]
		事業費 [69百万円]
		間接費 [65百万円]
		事務費・広報費 [33百万円]
DO-RA-MA YOKOHAMA 150	企画、演出、出演すべてが市民(500人)の手によるドラマ公演。延べ12回公演。(市民ボランティア延べ18,700人)(見学者約7千人)	[61百万円]
キャンドルカフェ	横浜ならではの舞台装置(夜景)の中で、きらめくキャンドルの灯りが横浜の歴史や、先人たちへの思いを醸造する暖かい空間を演出。	[71百万円]
横浜写真アーカイブ	横浜開港から今日までの企業及び市民における歴史的画像の収集によるデジタルアーカイブの構築及び展示の実施。	[3百万円]
教育		
教育プログラム	開国博の開催意義と学習テーマ(歴史・港・環境等)別コースを教育委員会の強力を得て設定し、市立小・中・高・特別支援学校のほぼ全校の児童生徒が参加。	[226百万円]
		事業費 [93百万円]
		間接費 [87百万円]
黒船来航イベント (山下公園会場他)	ハウステンボス所有の外輪型帆船「観光丸」への乗船体験及び一般公開を実施。乗船体験は3期に分け実施し、教育プログラムへも乗船枠を提供。延べ48,000人が乗船を体験。	[579百万円]
		事業費 [239百万円]
		間接費 [224百万円]
		事務費・広報費 [116百万円]

項 目	内 容	事業費
国等との連携		
船舶一般公開 (大さん橋会場、新港ふ頭5号・8号)	海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学、メキシコ及びコロンビア大使館、海上自衛隊、海上保安庁等の協力により、様々な機能を持つ船舶の一般公開。	[42百万円] 事業費 [28百万円] 間接費 [0百万円] 事務費・広報費 [14百万円]
絹の道、物産展(神奈川県内等との連携) (物産展:赤レンガ会場「開国・開港の街」) (展示:赤レンガ倉庫1号館)	「絹の道都市間交流連携会」を発足させ、参加自治体による展示・出展、地方紙連携によるコラムの連載、シンポジウムの開催等の実施。	[625百万円] 事業費 [258百万円] 間接費 [242百万円] 事務費・広報費 [125百万円]
その他		
マザーポートエリア (横浜駅周辺～山下・山手地区)	たねまるマップを3期に分けて作成。165万枚を配付。設置場所であるたねまるポットはエリア内に24か所配置し、来場者への情報サービスを展開。チケット持参者への各種施設の利用割引サービスも充実し「Y150」の新たな楽しみ方を提供できた。	[252百万円] 事業費 [104百万円] 間接費 [97百万円] 事務費・広報費 [51百万円]
灯台アートワーク・黒船トリックアート (象の鼻会場)	灯台アートワーク 「未来へ出航する横浜を見送る灯台」を作品テーマに公募の若手アーティストたちによる灯台アートを制作し、展示。様々な灯台アートが象の鼻会場をアーティストックな空間として演出。 黒船トリックアート 黒船が立体的に浮かび上がる不思議な世界を演出。	[136百万円] 事業費 [56百万円] 間接費 [53百万円] 事務費・広報費 [27百万円]

「開国博Y150」主な委託契約一覧

資料7

(単位:千円)

委 託 名	受託者名	区分	委 託 金 額			
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	計
市民参加事業実施運営業務	ハッスル(株)	市内	0	1,995	48,500	50,495
公式記録業務	(株)テレビ神奈川	市内	5,997	27,136	21,332	54,465
記念テーマイベントベイサイドエリア実施設計策定業務	(株)博報堂JV	市外・市内	77,604	2,706,900	3,402,400	6,186,904
入場券販売開始時における広報宣伝活動計画の策定及び宣伝物制作業務	(株)博報堂広報JV	市外・市内	35,999	0	0	35,999
広報・宣伝全体計画策定及び企業協賛活動プロモート等業務	(株)博報堂広報JV	市外・市内	27,500	0	0	27,500
広報宣伝業務	(株)博報堂広報JV	市外・市内	0	257,547	153,289	410,836
入場券販売管理センター・出札窓口業務	(株)JTB首都圏JV	市外・準市・市内	9,991	173,091	281,175	464,257
横浜市立学校教育プログラム受付センター運営業務	(株)JTB首都圏JV	市外・準市・市内	0	21,579	36,363	57,942
入場管理システムの構築・運用・保守及び入場券製作業務	凸版印刷(株)	準市	1,995	70,514	10,349	82,858
交通対策計画策定及び運営業務	TSP太陽(株)	準市	3,973	66,575	733,979	804,527
情報センター運営管理計画策定及び運営業務委託	TSP太陽(株)	準市	0	71,916	212,000	283,916
ボランティア運営管理計画策定及びボランティアセンター運営業務	TSP太陽(株)	準市	0	59,955	94,500	154,455
事務所棟リース、運営棟リース	郡リース(株)	準市	199,500	232,260		431,760
公式ガイドブック作成	ぴあ(株)JV	市外・準市	0	8,000	0	8,000
広告掲出委託	(株)電通JV	市外・準市	0	180,651	231,033	411,684
記念テーマイベントヒルサイドエリア実施設計策定業務	(株)アサツー ディ・ケイ	市外	177,870	838,732	814,256	1,830,858
主な契約金額の合計			540,429	4,716,851	6,039,176	11,296,456 (82.9%)
《参考》委託契約金額の合計(事業報告書より)			721,425	5,329,370	7,577,916	13,628,711

注:JVから再委託先の契約金額は、協会からの直接契約のみの金額を表示しています。

注:主な契約金額の合計欄(82.9%)は、委託契約全体に占める割合を表示しています。

※1 リーフレット、ポスター等の印刷、物品購入、運搬等については、特殊なものを除き、市内の中小企業に発注しています。

※2 JV構成員及び下請け業者については、別紙を参照してください。

「開国博Y150」主な発注状況データ

ベイサイドエリア		区分	
実施設計策定業務委託	(株)博報堂	市外	6社
	(株)京急アドインタープライス	市内	
	(株)相鉄エージェンシー	市内	
	(株)エヌイチケイインタープライス	市外	
	(株)横浜アーティスト	市内	
	(株)旭広告社	市内	
	(株)神奈川新聞社	市内	
	(株)東急エージェンシー	市外	
8街区建設工事 (はじまりの森)	(有)神庭工務店	市内	12社
	(有)大英成熟	市内	
	(有)鳶真	市内	
	(有)村山興業	市内	
	NIPPOコーポレーション(株)	市内	
	ウエキ園芸(株)	市内	
	光洋鋼材(株)	市内	
	日本セーフティ(株)	市内	
	横浜植木(株)	市内	
	(株)オートスピリット	市内	
	(株)日産クリエイティブサービス	市内	
	(株)丸舗建設	市内	
	TSP太陽(株)	準市	
	日本通運(株)	準市	
	広友リース(株)	準市	
	前田道路(株)	準市	
	ラインファルト工業(株)	準市	
	(株)キャプティ	準市	
	(株)テクノ菱和	準市	
	エスアールジータカミヤ(株)	準市	
	関東宇部コンクリート工業(株)	準市	
	新日軽(株)	準市	
	大鉄産業(株)	準市	
	不二サッシ(株)	準市	
	ユナイト(株)	準市	
	(株)INAXメンテナンス	準市	
	(株)アクティオ	準市	
	(株)レンタルのニッケン	準市	
	(有)神泉組	市外	
	(有)山本組	市外	
	JESCO CNS(株)	市外	
	田島工業(株)	市外	
	東明興業(株)	市外	
トキワ美研(株)	市外		
ナショップシステム(株)	市外		
日通運輸(株)	市外		
パナソニック電工(株)	市外		
(株)五晃建設	市外		
(株)三恵社	市外		
(株)丹青社	市外		
(株)丹青ビジネス	市外		
(株)テクノエコ	市外		
運営会社	京浜港ワッチマン業協同組合	市内	4社
	鈴江コーポレーション(株)	市内	
	(株)神奈川共立	市内	
	(株)横浜シミズ	市内	
ラ・マシンスペクトル	房州物流(株)	準市	3社
	(株)レンタルのニッケン	準市	
	(株)レント	準市	
	大田商店	市内	
	京浜港ワッチマン業協同組合	市内	
	鈴江コーポレーション(株)	市内	

	日本港運(株)	市内	}	8社
	横浜はしけ運送事業協同組合	市内		
	(株)みなと石油商会	市内		
	(株)横浜港湾架設	市内		
	(株)横浜シミズ	市内		
	房州物流(株)	準市	}	5社
	(株)エイジエック警備保障	準市		
	(株)高島テクノロジーセンター	準市		
	(株)レンタルのニッケン	準市		
	(株)レント	準市		
7街区建設工事 (トゥモローパーク)	(有)小荒工業所	市内	}	15社
	(有)鈴木設備工業	市内		
	(有)寺田建設	市内		
	風越工業(株)	市内		
	木曾左官	市内		
	日本セーフティー(株)	市内		
	細谷工業(株)	市内		
	横浜建物管理協同組合	市内		
	(株)阿部鋼業	市内		
	(株)京浜テック	市内		
	(株)健商	市内		
	(株)カカ	市内		
	(株)永島商店	市内		
	(株)日産クリエイティブサービス	市内		
	(株)ヤマグチ	市内		
	東亜道路工業(株)	準市	}	2社
	三菱ビルマネジメント(株)	準市		
	(合)馬場商店	市外	}	28社
	(有)岩井運輸	市外		
	(有)林建設	市外		
	(有)ファスト	市外		
	(有)アイマックス	市外		
	(有)山本組	市外		
	アンカ(株)	市外		
	飯田電機工業(株)	市外		
	小川テント(株)	市外		
	開成建設(株)	市外		
	会陽建設工業(株)	市外		
	小岩金網(株)	市外		
	サン設備設計	市外		
	スクリーン設備(株)	市外		
	東明興業(株)	市外		
	日通運輸(株)	市外		
	丸与デザインテック(株)	市外		
	(株)FCS	市外		
	(株)オマージュ	市外		
	(株)菊池防災	市外		
	(株)ザ・サムシングエルス	市外		
	(株)ステーションフォー	市外		
	(株)丹精社	市外		
	(株)丹青ビジネス	市外		
	(株)幕廣	市外		
	(株)ムラヤマ	市外		
(株)山城電機	市外			
(株)裕技研	市外			
(社)横浜港湾福利厚生協会	市内	}	8社	
(有)イート	市内			
(有)タイケン	市内			
宅配フードサービス達磨	市内			
富士ゼロックス神奈川(株)	市内			
横浜エフエム放送(株)	市内			
(株)テレビ神奈川	市内			
(株)ハッピープランニング	市内			
運営会社				

		ステラグループ(株)	準市	}	2社
		(株)セレスポ	準市		
	ドリームフロント	京急緑地開発(株)	市内	}	1社
		郡リース(株)	準市		
	運営会社	(有)タイケン	市内	}	2社
		(株)ハッピープランニング	市内		
	サイン工事	(株)ドゥ・クリエーション	準市	}	1社
	象の鼻	(株)横浜港湾架設	市内		
	[ベイサイドエリア全体]	新港埠頭総合サービス(株)	市内	}	2社
		横浜建物管理協同組合	市内		
		シンティキャリア(株)	準市	}	2社
		シンティ警備(株)	準市		
ヒルサイドエリア					
	実施設計策定業務委託	(株)アサツ ディ・ケイ	市外	}	7社
		北海工業(株)	市内		
		矢崎設備工業(株)	市内	}	5社
		(株)キクシマ	市内		
		(株)シグマ映像	市内	}	6社
		(株)濱田園	市内		
		TSP太陽(株)	準市	}	6社
		フジタ道路(株)	準市		
		前田道路(株)	準市	}	7社
		(株)内藤ハウス	準市		
		(有)成瀬舗装	市外	}	7社
		飯田電機工業(株)	市外		
		(株)アーバンスペース	市外	}	4社
		(株)ウエデン	市外		
		(株)翔栄クリエイト	市外	}	4社
		(株)フジヤ	市外		
	[ヒルサイドエリア全体]	国際警備(株)	市内	}	4社
		横浜建物管理協同組合	市内		
		(株)ホンマ	市内	}	4社
		横浜市グリーン事業協同組合	市内		
全体運営					
	入場券販売管理センター、出札窓口	相鉄観光(株)	市内	}	1社
		(株)JTB首都圏	準市		
		近畿日本ツーリスト(株)	準市	}	4社
		(株)日本旅行	準市		
		京急観光(株)	準市	}	1社
		(株)ジェイコム	市外		
	入場管理システム構築・入場券製作	凸版印刷(株)	準市	}	1社
	交通計画策定及び運営	TSP太陽(株)	準市		
		(社)横浜港湾福利厚生協会	市内	}	7社
		(有)うお時	市内		
		国際警備(株)	市内	}	5社
		相模鉄道(株)	市内		
		シティアクセス(株)	市内	}	5社
		相鉄エージェンシー(株)	市内		
		横浜市交通局	市内	}	5社
		近畿日本ツーリスト(株)	準市		
		三協フロンティア(株)	準市	}	5社
		シンティ警備(株)	準市		
		シンティトラスト(株)	準市	}	5社
		広友リース(株)	準市		
		(有)ティンズクラフト	市外	}	5社
		神奈中観光(株)	市外		
		増子電気(株)	市外	}	5社
		山崎製パン(株)	市外		
		(株)トゥー・ワンプロモーション	市外	}	1社
	情報センター運營業務	TSP太陽(株)	準市		
	ボランティアセンター運營業務	TSP太陽(株)	準市	}	1社
	教育旅行サポートセンター	相鉄観光(株)	市内		
		(株)JTB首都圏	準市	}	1社

	近畿日本ツーリスト(株)	準市	}	4社			
	(株)日本旅行	準市					
	京急観光(株)	準市					
	(株)ジェイコム	市外					
公式記録業務	(株)テレビ神奈川	市内		1社			
入場券販売開始時における広報宣伝活動計画の策定及び宣伝物制作業務	(株)京急アドインタープライス	市内	}	5社			
	(株)相鉄エージェンシー	市内					
	(株)横浜アーティスト	市内					
	(株)旭広告社	市内					
	(株)神奈川新聞社	市内					
	(株)博報堂	市外					
	(株)アサツー ディ・ケイ	市外					
	(株)東急エージェンシー	市外					
広報・宣伝全体計画策定及び企業協賛活動プロモート等業務	(株)京急アドインタープライス	市内	}	5社			
	(株)相鉄エージェンシー	市内					
	(株)横浜アーティスト	市内					
	(株)旭広告社	市内					
	(株)神奈川新聞社	市内					
	(株)博報堂	市外					
	(株)アサツー ディ・ケイ	市外					
	(株)東急エージェンシー	市外					
広報宣伝業務	(株)京急アドインタープライス	市内	}	5社			
	(株)相鉄エージェンシー	市内					
	(株)横浜アーティスト	市内					
	(株)旭広告社	市内					
	(株)神奈川新聞社	市内					
	(株)博報堂	市外					
	(株)アサツー ディ・ケイ	市外					
	(株)東急エージェンシー	市外					
広告掲出委託	(株)電通東日本	準市	}	1社			
	(株)電通	市外					
	凸版印刷(株)	準市					
	ぴあ(株)	市外					
	ポスター・リーフレットの印刷 (指名競争入札) 多くの発注あり	朝日オフセット印刷(株)			市内	}	8社
		山陽印刷(株)			市内		
		(株)横浜リテラ			市内		
		(株)佐藤印刷所			市内		
吾妻印刷(株)		市内					
山王印刷(株)		市内					
(株)野毛印刷社		市内					
(有)関内印刷		市内					
市民参加事業実施運営業務	ハッスル(株)	市内		1社			
市民参加ポータルサイト構築・運営業務	インフォ・ラウンジ合同会社	市内		1社			
赤レンガ会場業務	(株)旭広告社	市内		1社			
損害保険代理店契約	(株)朋栄	市内		1社			
事務所棟・運営棟リース	郡リース(株)	準市		1社			
ライセンス管理運営業務	伊藤忠商事(株)	市外		1社			

市内業者	105社	45%
準市内業者	56社	24%
市外業者	73社	31%
計	234社	100%

「再委託」における市内業者への発注については、やむを得ない場合を除き、市内業者とするよう、元受業者に強く協力要請をしています。

なお、上記件数は、主な発注における会社数の比較であり、事務所清掃やチラシ等の印刷などを加えますと、市内業者への発注は更に多くなります。

公式記念品売店の売上実績及び協会収入について

1 契約の相手方

伊藤忠商事株式会社

2 ライセンス管理

(1) 公式記念品売店売上納付金

ア 公式記念品売店 計3店

① ベイサイド・はじまりの森店、

② 赤レンガ広場店

③ ヒルサイド・つながりの森店

イ 売上納付金の割合

基本的に売上の10%

(2) ライセンス使用料

基本的に小売価格の6%（会期中の公式記念品売店販売商品は8%）

（このうち65%が協会収入、35%が伊藤忠商事収入）

3 ライセンス使用等に係る150周年協会の収入

	予算額	見込み額
（公式記念品売店の売上額）	（3,426,700,999円）	（703,204,230円）
協会への売上納付金	342,670,000円	70,167,732円
協会のライセンス使用料収入	110,000,000円	106,655,310円
合 計	452,670,000円	176,823,042円
協会収入差（予算－見込み額）	－	▲275,846,958円

[資料-9] 「開国博 Y150」事業効果一覧表

テ ー マ	効 果	総 括																															
<p style="text-align: center;">歴 史</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立小中学校等を対象として、Y150 教育プログラムを設定し、Y150 はじまりの森会場と歴史を学習できる周辺施設を見学し、次世代を担う子供たちに「横浜の開港の歴史」の学習の場を提供した。 ・ 会場内「横浜ものがたり」ゾーンにおいて、横浜開港 150 年の歴史や開国・開港の時代を、映像や体験型展示で展開し、横浜の先人たちの足跡をたどるとともに、日本の近代化に果たした横浜の役割を紹介した。 ・ 神奈川新聞により、横浜開港からの時代の出来事を中心に「<u>横濱開港新聞</u>」を発行し、横浜開港の歴史への理解と、150 周年の周知を図った。 ・ 「絹の道」都市間連携として実施した企画の中で、各関係地方新聞（神奈川新聞、信濃毎日新聞、山梨日日新聞、上毛新聞）が、「絹」をテーマに、「人」「地域」の歴史を楽しみながら理解できる内容で、<u>各社 50 回にわたる連載</u>し、横浜・神奈川だけでなく、長野、山梨、群馬、東京の都県に横浜開港の歴史を紹介した。 ・ 横浜開港の 150 周年記念図書「<u>みなとびとの記</u>」、写真集「<u>横濱みなとの唄</u>」を発行し、近代日本の開国・開港の歴史を紹介した。 ・ 市民・企業から投稿した開港当時の写真をインターネット上で公開するとともに、スライド写真展「<u>横浜アーカイブ</u>」の開催し、近代日本の開国・開港の歴史（横浜の素顔）を紹介した。 <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>・ 関連施設入館 5～9 月実績</td> <td>神奈川県立博物館</td> <td>81,597 人</td> <td>前年比</td> <td>23.0%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本郵船歴史博物館</td> <td>16,786 人</td> <td></td> <td>28.4%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横浜開港資料館</td> <td>49,933 人</td> <td></td> <td>63.2%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本新聞博物館</td> <td>25,992 人</td> <td></td> <td>27.0%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横浜税関資料展示館</td> <td>52,953 人</td> <td></td> <td>67.0%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横浜市歴史博物館</td> <td>131,489 人</td> <td></td> <td>11.7%増</td> </tr> </table>	・ 関連施設入館 5～9 月実績	神奈川県立博物館	81,597 人	前年比	23.0%増		日本郵船歴史博物館	16,786 人		28.4%増		横浜開港資料館	49,933 人		63.2%増		日本新聞博物館	25,992 人		27.0%増		横浜税関資料展示館	52,953 人		67.0%増		横浜市歴史博物館	131,489 人		11.7%増	<p>「海と歴史コース」 426 校 93,531 人</p> <p>22 回 計 570 万部</p> <p>総発行部数（4 紙計） 143 万部×50 回 =7,150 万部</p> <p>図書 20,000 部 写真集 5,000 部 投稿写真約 5,600 点 インターネットアクセス 数 約 45 万件 来場者 約 5,000 人</p>	<p style="text-align: center;">横浜の開港、近代日本の開国の歴史や先人たちの軌跡を学ぶ機会を、会場のみならず、周辺施設や広くマスコミを通じて、紹介、周知した。</p>
・ 関連施設入館 5～9 月実績	神奈川県立博物館	81,597 人	前年比	23.0%増																													
	日本郵船歴史博物館	16,786 人		28.4%増																													
	横浜開港資料館	49,933 人		63.2%増																													
	日本新聞博物館	25,992 人		27.0%増																													
	横浜税関資料展示館	52,953 人		67.0%増																													
	横浜市歴史博物館	131,489 人		11.7%増																													

テ ー マ	効 果	総 括
<p style="text-align: center;">港・海・船</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>黒船乗船体験</u> 5月、6月、8月と3回に分けて黒船「<u>観光丸</u>」の公開 約1時間程度の航路にて1日4回運行（1回300名の乗船） 夜は、山下公園沖にて<u>ライトアップ</u> ・ <u>教育プログラムでの乗船体験</u> 黒船、東海大学望星丸、横浜市はまどり、ロイヤルウイングに乗船体験 ・ <u>船舶一般公開</u> <u>防衛省・海上自衛隊、海上保安庁、メキシコ及びコロンビア大使館、</u> <u>海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学等の協力により、様々な機能を持つ</u> <u>船舶を一般公開</u> <p>【公開船舶】</p> <p>防衛省・海上自衛隊（護衛艦ひゅうが、護衛艦しらゆき） 海洋研究開発機構（よこすか、なつしま、かいよう、かいいい、白鳳丸） 東海大学（望星丸） メキシコ（軍帆船クワウテモック号） コロンビア（軍帆船グロリア号）</p>	<p><u>延べ日数 44 日</u> <u>乗船人数約 48,000 人</u></p> <p><u>「海と歴史コース」</u> <u>426 校 93,531 人</u></p> <p><u>公開延べ日数 40 日</u> <u>乗船人数</u> <u>約 127,000 人</u></p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連施設入館実績 横浜みなと博物館 72,094 人 前年比 <u>72.6%増</u> 5～9 月実績 帆船日本丸 83,643 人 <u>79.7%増</u> 日本郵船冰川丸 122,267 人 <u>18.3%増</u> 海上保安資料館 179,611 人 <u>69.6%増</u> 大栈橋客船ターミナル 1,177,055 人 <u>36.6%増</u> ・ 観光船実績 マリーンルージュ 34,610 人 <u>7.2%増</u> マリーンシャトル 60,870 人 <u>2.7%増</u> 水上バス 20,986 人 <u>23.0%増</u> シーバス 416,300 人 <u>18.6%増</u> ロイヤルウイング 140,841 人 <u>22.8%増</u> 	<p style="text-align: center;">多種多様な船舶の市民等への一般公開により、港横浜のアピールとともに、科学技術の先端を紹介し、市民等に大いに楽しんでいただいた。</p>

テ ー マ	効 果		総 括
教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ベイサイドエリア・ヒルサイドエリアと周辺施設を組み合わせ、イベントの開催意義・内容と学習テーマを勘案した推奨ツアーを、「歴史・港」「環境・科学技術」「生命・アート」「経済・国際」の計38コースを設定し、市立小・中・高・特別支援学校のほぼ全校の児童生徒が参加し、校外学習として活用した。</u> ・ <u>横浜市立の学校以外に横浜の私学、町田・相模原・八王子の市立学校も参加した。</u> 	<p>市立 508 校 約 205,000 人</p> <p>41 校 約 6,000 人</p>	<p>次世代を担う子供たちにとって、開港以来の歴史、港、科学技術や自然環境の取り組みなどを学習する意義深い取り組みを行った。</p>
市民力の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>運営ボランティア</u>：約 2,600 名のボランティアが、案内サービス、環境美化活動など来場者へのホスピタリティアップを図った。 ・ <u>ベイサイド市民協催</u>：子ども、国際交流、環境、文化などのテーマごとに、NPO や市民団体をはじめ 149 団体約 4,900 人による、ミュージカル、ステージパフォーマンス、展示を実施した。 ・ <u>ヒルサイド市民創発</u>：公募で集まった市民が、自然・環境・共生などの様々な 182 プロジェクトを展開した。 ・ <u>横浜 FUNE プロジェクト</u>：横浜港の歴史を彩ってきた実際の船をモチーフにダンボールなどの素材を使って、<u>各区の地区センターや小中学校などにおいて区民の力で 150 艘の船を製作した。</u> ・ <u>DO-RA-MA YOKOHAMA150 など</u>→企画、演出、出演すべてが市民 (500 人) の手による <u>ドラマ公演</u> を実施した。 <p>その他 <u>キャンドルカフェ</u> (2009 年は予定)、<u>市民参加プラットホーム</u> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>区民デー</u> 「Y150」会場内で、各区の区民デーを設け、横浜の様々な地域の特色や魅力をステージイベント等を行って情報発信した。 	<p>市民延べ約 16,500 人</p> <p>市民延べ約 11,000 人 見学者 10 万人強</p> <p>市民延べ約 18,600 人 見学者約 10 万人強</p> <p>各区地区センター・ 127 箇所で作 市民延べ約 18,200 人</p> <p>公演；延べ 12 回 市民延べ約 18,700 人 見学者約 7 千人 市民延べ約 4,700 人</p> <p>13 日間 17 区が出演 39 団体 市民延べ約 800 人</p>	<p>全体で延べ約 90,000 人の市民の方がボランティアとして参加したことにより、新たな市民活動グループの結成と活動の継続につながったほか、様々な活動を行っているグループの新たなつながりを促進し、市の重要施策の「市民力の発揮」の推進の礎を作った。</p>

テ ー マ	効 果	総 括
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>会場設定における配慮</u>：赤レンガ倉庫・大栈橋ホール・トリエンナーレ会場・象の鼻パーク・山下公園など既存施設を活用した会場設定により、<u>新たな会場建設による環境負荷を最小限に抑制し環境負荷の低減に取り組んだ。</u> ・ <u>環境メッセージ含んだコンテンツの展開</u>：アースバルーンにより<u>地球環境保全のメッセージを発信、スーパーハイビジョンシアターで日本自然の美しさなどを発信。</u>さらに、日産パビリオンでは<u>環境技術の紹介や地球環境を守るために一人ひとりができることに取り組むことを訴求。</u>また、<u>ヒルサイドエリアは、会場全体が環境を考える仕掛けになっており、多様な視点から環境について考え・行動する数多くの市民創発プロジェクトを展開。</u> ・ <u>会場内での環境配慮装置等の採用・紹介</u>：企業出展や協賛により、<u>燃料電池や電気自動車を展示したほか、ハイブリッド型発電機やウォーターミスト、緑化壁、光触媒テントなどを設置し、来場者に環境技術に触れていただく仕掛け作り。</u>イベント創造プラットフォームの取り組みとして、<u>横浜市の水源地の一つである山梨県道志村の水源涵養林間伐材を使用したベンチづくり</u>を市民参加で行い、<u>生命の源である水について考えていただく機会とするとともに、制作したベンチを会場に設置。</u> ・ <u>イベントの制作運営面における配慮</u>：<u>グリーン購入の推進、レンタル・リースによる物品調達、印刷物への環境配慮、省エネルギー、簡易包装の推進、会場建設部材のリサイクル、分別ボックスの設置及び分別啓発、苗木等の配布など一般的な取り組みのほか、道志村の水源涵養林の管理を行うことにより、ヒルサイドシヤトルバス運行に伴うCO2 排出量を相殺するカーボンオフセットを実施。</u> ・ <u>都市型イベントならではの取り組み</u>：<u>公共交通機関による来場を促したほか、廃棄物を処理する際に発生する電力（廃棄物発電電力）を、横浜市資源循環局の協力を得て、同局金沢工場から有料施設 4 か所に給電してもらうことにより、イベントの運営に伴うCO2 の排出抑制に取り組んだ。</u> 	<p>イベントを通して、多くの環境への配慮を行うことにより、来場者に対し、「環境への取り組み」の重要性を訴えた。</p>

	テ ー マ	効 果		総 括
連携	横浜市	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>JRデスティネーション、海のエジプト展</u> 共催事業として、JR デスティネーションでは、全国に横浜・神奈川の紹介を、また海のエジプト展では、「Y150 ベイサイドセット券」の企画や広報宣伝など、連携協力により相互の集客を高めた。 ・ <u>市の主催行事との連携</u> 横浜開港 150 周年記念式典、「ヴィジョン・ヨコハマ」公演、世界卓球大会、海フェスタ、トライアスロン、フラワーアートフェスティバルなど市主催の 150 周年事業と連携・協力を行い、相互の集客を高めた。 ・ <u>市関連施設との連携</u> ヒルサイドとズーラシアの共通券を企画し、相互の集客を高めた。 ・ <u>18 区紹介事業</u> 赤レンガ倉庫および広場において、各区の紹介、物産・ブランドを紹介した。 	JR 前年度 8.9%増 (暫定データ) 海のエジプト展 <u>来場者約 70 万人</u> 来場者数 <u>約 1,565,000 人</u> 7~9 月実績前年比較 <u>ズーラシア 62.2%増</u> 来場者数 <u>約 125,800 人</u>	横浜市全体で、150 周年を祝う多くの催しを開催し、その情報を全国発信することにより、横浜の 150 周年の周知と集客に貢献した。
	他都市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜開港当初は、生糸の貿易が主流だったことから「絹の道都市間交流連携会」を発足させ、<u>1 都 5 県 37 市町村による物産展 (赤レンガ会場テント内) 展示、出展 (赤レンガ会場) およびシンポジウムを開催 (開港記念会館)</u> <u>【構成他県市町村】</u> 群馬県、前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、富岡市、他 2 市 4 町村 埼玉県、本庄市、川越市、熊谷市 長野県、上田市、岡谷市、須坂市、駒ヶ根市他 1 町 山梨県、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、甲州市、甲斐市、他 1 町 町田市、八王子市、相模原市、海老名市、厚木市、愛川町 ・ <u>神奈川県を 6 つのブロックに分け、各地域の物産展 (赤レンガ会場テント内)</u> <u>【神奈川県下 32 市町村 ※相模原市は「絹の道」で参加】</u> ・ <u>開港 5 都市 (函館、新潟、神戸、長崎) 5 か国 (アメリカ、ロシア、フランス、イギリス、オランダ) の展示紹介と物産展を開催</u> 	<u>【絹の道関連】</u> ・ 物産展 <u>35 日間約 111,000 人</u> ・ 展示 <u>49 日間約 67,000 人</u> ・ シンポジウム <u>374 名</u>	絹の道を通じて、わが国発展の歴史と横浜港の役割を広く発信したほか、横浜のリーダーシップのもと新たな都市間連携の種をまいた。

テ ー マ	効 果		総 括
<p style="text-align: center;">連 携</p> <p style="text-align: center;">国・神奈川県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>防衛省、海洋研究開発機構</u> 防衛省・海上自衛隊、海上保安庁、メキシコ及びコロンビア大使館、海洋研究開発機構、航海訓練所、東海大学等の協力により、様々な機能を持つ船舶を一般公開。 ・ <u>宇宙航空研究開発機構</u> 8月1日から閉幕まで宇宙天文年開催し、RVT（再使用型ロケット実験機）の特別展示、月周回衛星「かぐや」と陸域観測技術衛星「だいち」撮影映像などを公開。 ・ <u>国土交通省、財務省（関東財務局）</u> 協会事務所用地、ベイサイド会場用地の提供 ・ <u>宮内庁</u> 徳川将軍家と幕末明治の美術を紹介展示する「大・開港展」に、宮内庁所蔵品を公開（横浜美術館）。 ・ <u>旧郵政省（日本郵政）</u> 3か年にわたり「横浜開港150周年」の記念切手の発行 ・ <u>神奈川県</u> 日英友好150年の礎を築く第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展への協力 	<p>【再掲】 公開延べ日数 40 日 乗船人数 約 127,000 人</p> <p>来場者数 約 35,000 人</p> <p>発行部数 38,000 部</p> <p>来場者数 8,910 人</p>	<p>多くの市民が、船舶や宇宙に関する展示の一般公開に参加し、船舶や宇宙に対する知識・理解を深めると同時に、横浜の開港は近代日本の開国との共通意識のもと、今後の横浜と国・神奈川県との連携が促進された。</p>
<p style="text-align: center;">企 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>財団への職員派遣</u>（銀行、鉄道、旅行、百貨店、地元企業） ・ <u>企業による「Y150」の広告宣伝</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>神奈川・読売新聞など4紙、日経トレンディなど雑誌10誌ほか、NHKほかテレビ・ラジオ等マスメディアを通じてY150を紹介</u> ・ <u>鉄道各社による、駅貼ポスター、車内ポスター、イベント列車の運行等での紹介。</u> ・ <u>横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス、横浜FCによるヘルメット、ユニホームでのロゴ掲出や看板掲出などでの紹介。等</u> 	<p><u>27 企業</u></p>	<p>マスメディア等により、今年が横浜の開港、近代日本の開国150周年という位置づけを全国に発信した。</p>

テ ー マ	効 果	総 括																																															
<p style="text-align: center;">都 市 プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>マザーポートエリア（周辺地区）との連携</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜駅周辺から山下・山手地区をマザーポートエリアとして設定し、回遊ルートやイベント情報の「たねまるマップ」等を作成し、配布。 ・ マップにより、みどころいっぱいの横浜をテーマ別（アート、歴史、中華街、夜景など）に「ヨコハマ街歩き」を展開。 ・ マザーポートエリアでは、<u>有料入場券提示で割引を実施</u>。 ・ <u>市内商店街等との連携</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市商店街連合会を通じて、市内各商店街でのポスター掲示やのぼり旗を掲出。 ・ その他百貨店、ショッピングセンター、ホテル等でのポスターを掲出。 ・ <u>関連施設実績</u>（21年7～9月実績と20年度同期比較） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">観光施設</td> <td style="width: 35%;">市全体</td> <td style="width: 15%;">8,572,970人</td> <td style="width: 10%;">20年度比</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">13.4%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>みなとみらい・桜木町</td> <td>2,726,148人</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9.0%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山下・関内・伊勢佐木</td> <td>1,186,309人</td> <td></td> <td style="text-align: right;">53.6%増</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>市全体</td> <td>1,211,403人</td> <td>20年度比</td> <td style="text-align: right;">0.4%減</td> </tr> <tr> <td></td> <td>みなとみらい・桜木町</td> <td>384,989人</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.9%増</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山下・関内・伊勢佐木</td> <td>349,690人</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.8%増</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="margin-top: 10px;">観光交通機関</td> <td>638,433人</td> <td>20年度比</td> <td style="text-align: right;">17.2%増</td> </tr> </table> ・ 鉄道関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ JR（JR東日本管内の近距離切符発売実績） ☆ゴールデン期間（4/24～5/6） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 35%;">JR東日本管内</td> <td style="width: 15%;">7,055万枚</td> <td style="width: 10%;">20年度比</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1%減</td> </tr> <tr> <td>横浜駅</td> <td>176.5万枚</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2%増</td> </tr> <tr> <td>桜木町駅</td> <td>44.6万枚</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10%増</td> </tr> </table> 	観光施設	市全体	8,572,970人	20年度比	13.4%増		みなとみらい・桜木町	2,726,148人		9.0%増		山下・関内・伊勢佐木	1,186,309人		53.6%増	宿泊施設	市全体	1,211,403人	20年度比	0.4%減		みなとみらい・桜木町	384,989人		0.9%増		山下・関内・伊勢佐木	349,690人		0.8%増	観光交通機関		638,433人	20年度比	17.2%増	JR東日本管内	7,055万枚	20年度比	1%減	横浜駅	176.5万枚		2%増	桜木町駅	44.6万枚		10%増	<p style="text-align: center;">来街者の回遊性を向上させ、イベント開催効果を面的に広げ、未曾有の賑わいをみせるとともに、より横浜のアピールに貢献。</p>
観光施設	市全体	8,572,970人	20年度比	13.4%増																																													
	みなとみらい・桜木町	2,726,148人		9.0%増																																													
	山下・関内・伊勢佐木	1,186,309人		53.6%増																																													
宿泊施設	市全体	1,211,403人	20年度比	0.4%減																																													
	みなとみらい・桜木町	384,989人		0.9%増																																													
	山下・関内・伊勢佐木	349,690人		0.8%増																																													
観光交通機関		638,433人	20年度比	17.2%増																																													
JR東日本管内	7,055万枚	20年度比	1%減																																														
横浜駅	176.5万枚		2%増																																														
桜木町駅	44.6万枚		10%増																																														

テ ー マ	効 果	総 括
	<p>☆夏休み期間 (7/17～8/18)</p> <p>JR 東日本管内 17,528 万枚 20 年度比 <u>1%減</u></p> <p>横浜駅 433.0 万枚 <u>増減なし</u></p> <p>桜木町駅 101.1 万枚 <u>11%増</u></p> <p>・市営地下鉄 (4～9 月乗車人数)</p> <p>横浜駅 12,086,272 人 4.2%増</p> <p>桜木町駅 2,905,299 人 12.8%増</p> <p>・みなとみらい線 (4～9 月 1 日乗降客数)</p> <p>総数 171,922 人 <u>6.4%増</u></p> <p>みなとみらい駅 59,864 人 <u>7.2%増</u></p> <p>馬車道駅 34,733 人 <u>9.5%増</u></p> <p>・相模鉄道線 (4～8 月乗降客数)</p> <p>総数 72,421,880 人 <u>0.7%減</u></p> <p>横浜駅 33,499,493 人 <u>1.5%減</u></p> <p>鶴ヶ峰駅 4,384,521 人 <u>0.9%増</u></p> <p>・東急東横線 (4～8 月乗客数)</p> <p>総数 67,278,324 人 <u>0.8%増</u></p> <p>横浜駅 25,535,283 人 <u>1.6%増</u></p> <p>・京浜急行電鉄 (4～8 月乗降客数)</p> <p>総数 75,567,765 人 <u>0.7%減</u></p> <p>横浜駅 24,050,535 人 <u>0.5%減</u></p>	

日 時	場 所	件名(プレス発表)	内 容
6/19～	はじまりの森	「ラ・マシン」搭乗体験	土・日・祝日に小学生を対象にコックピットへの搭乗体験を実施
		「大人も楽しめる」夜のプログラムを充実	毎週金・土曜日にジャズやサルサのライブを開催、黒船レストランでは、お得なセットメニューも用意
		黒船トリックアートを設置	象の鼻会場の「黒船トリックアート」をより一層立体的に見える特殊レンズとともに設置
	トゥモローパーク	大道芸を楽しもう	1日3～4回 大道芸を実施
	ドリームフロント	スーパーハイビジョンシアターの上映プログラムを追加	「gift」加え「gift 躍動」を追加、2プログラム同時上映
エントランスに「FUN(船)」を展示		エントランスに横浜 FUNE プロジェクトで制作したダンボールの「FUN(船)」を10艘展示	
7/3～	トゥモローパーク	「BATON」第3章繰上げ上映	7月3日から夜間繰上げ上映により、第2、3章併映
7/3～16	マザーポート	「黒船公開」追加決定	7月3日から第3期黒船体験ツアーに先駆け、係留中の黒船船内を特別公開
7/17・18	はじまりの森	奈良県 DAY&なら燈火会ナイト	せんとくん&せんとくんファミリー「平成伎楽団」の会場でのパフォーマンス、「なら燈火会」のプレイベントとして、約3千個のろうそくが「Y150 はじまりの森」を装飾
7/18～ 8/31	トゥモローパーク	キッズボート設置	トゥモローパークに子供用ボートが楽しめるプールを設置(有料)
7/18～ 8/31	はじまりの森	「ENEOS ラ・マシン」搭乗体験	小学生以下を対象とした「ENEOS ラ・マシン」のコックピット搭乗体験毎日開催
7/21	トゥモローパーク	サカタのタネ アンデスメロンキャンペーン	カットメロンの試食
7/22	トゥモローパーク	石原良純さんと日食を見よう!	日食の時間帯に合わせ、気象予報士 石原良純氏のトークショーを実施
7/22	ヒルサイド	日食観察会 in ヒルサイド	日食観測会を実施
8/1～	ドリームフロント	「開国博 Y150」にロケットがやってくる!!	<ul style="list-style-type: none"> ・RVT(再使用型ロケット実験機)特別展示 ・衛星「かぐや」「だいち」撮影映像放映 ・ロケット発射映像放映 ・衛星「ひので」撮影の「宇宙から見た日食」映像放映

日 時	場 所	件名(プレス発表)	内 容
8/8～ 23、9/4 ～15	トゥモローパーク	「区民デー」開催	各区で活躍する区民がトゥモローパークステージに出演する「区民デー」を開催、該当区民は、特別割引実施
8/8～ 8/13	トゥモローパーク	トゥモローパークステージ キャラクターウィーク	<ul style="list-style-type: none"> ・サンリオ キティちゃんショー ・シルバニアファミリーショー ・ぜんまいざむらい着ぐるみショー ・ポケットモンスターキャラクターショー ・ドラえもんキャラクターショー ・ヤッターマンキャラクターショー
8/15	トゥモローパーク	寺内タケシとブルージーンズ トゥモローパークステージライブ	寺内タケシとブルージーンズのスペシャルライブ
8/8～11	トゥモローパーク	フェイスペインティング&縁日	フェイスペインティングのワークショップと縁日を開催 (有料 200 円)
8/12～ 8/31	各有料会場	「たねまるシール」・横浜市オリジナルグッズプレゼント	ベイサイドエリア有料 3 会場及びヒルサイドエリア、毎日先着 1, 000 名に「たねまるシール」等をプレゼント
8/12～	ベイサイドエリア	ベイサイドエリア夜間割引入場券入場時間繰上げ	ベイサイドエリア夜間割引入場券の入場時間を 18 時から 17 時に繰上げ
8/15～ 8/31	ベイサイドエリア	「開国博 Y150」公式ウェブサイト上のアンケートで「ベイサイド普通入場券」を割引	「開国博 Y150」公式ウェブサイト上のアンケートに回答すると 400 円の割引券がダウンロード可に
8 月中 土・日	はじまりの森	「ラ・マシン」パフォーマンス追加上演	毎週金土曜日に実施中のスペシャルナイトプログラムでのパフォーマンスを新たに追加上演
8/17	はじまりの森	モーニング娘。が開国博 Y150 の応援にやってくる!	モーニング娘。のメンバー 2 名がはじまりの森に来場、「ラ・マシン」搭乗体験を実施
8/22	トゥモローパーク	ひこにゃんイベント	彦根市キャラクター「ひこにゃん」が来場
8/22・23	トゥモローパーク	ヨコハマカーニバルハマこい踊り 火炎 2009	ヨコハマカーニバルハマこい踊り火炎 2009 の出演者がトゥモローパークステージに登場
9/1～	はじまりの森	公式カプセルフィギュアをプレゼント	神奈川新聞、ヨコハマウォーカー、タウンニュースのフィギュアプレゼント情報を持参の先着 1,000 名にプレゼント
9/15～17	ヒルサイドエリア	「ジャングル展 with 道志村」	<p>各界著名人のジャングルをテーマにした作品を展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野武 ・さだまさし ・泉谷しげる ほか

「開国博Y150」計画事業収支と収支見込の増減理由について

(単位:億円)

	計画	見込み	増減	備考
記念テーマイベント				
【事業費】	120	124	4	施設(ドリームフロント)協賛に伴う経費を計上したことによる増等
【財源】				
横浜市補助金	55	55	0	
協賛金等	20	20	0	
協賛金	17	20	3	施設協賛の増
その他収入	3	0	3	記念品売上の減等
入場料収入	45	25	20	有料入場者の減
財源 - 事業費	0	24	24	
広報宣伝				
【事業費】	22	18	4	協力企業による広報宣伝媒体の提供に伴う節減
【財源】				
横浜市補助金	17	15	2	広報紙の発行を市で実施したことなどによる減
協賛金等	5	3	2	
協賛金	3	3	0	
その他収入	2	0	2	記念品売上の減等
入場料収入	0	0	0	
財源 - 事業費	0	0	0	
事務費				
【事業費】	15	15	0	
【財源】				
横浜市補助金	10	12	2	運営本部棟に伴う経費分の増
協賛金等	5	2	3	
協賛金	0	0	0	
その他収入	5	2	3	記念品売上の減等
入場料収入	0	0	0	
財源 - 事業費	0	1	1	

資料12

「開国博Y150」未確定額25億円の内訳について

(単位:億円)

	計 画	見 込 み	増△減	備 考
事業費	157	157	0	
財源				
横浜市補助金	82	82	0	予算額どおり
協賛金等	30	25	△5	・公式記念品売店売上納付金の減 △約3億円 ・消費税等還付見込み未確定 △約2億円
入場料収入	45	25	△20	入場者の減による収入の減
財源 計	157	132	△25	
財源－事業費見込み	0	△25	△25	

横浜開港 150 周年記念事業総括にかかる調査費

150 周年記念事業総括のための調査に要した経費

	調査件名	契約金額
1	横浜開港 150 周年記念事業経済波及効果	4,095,000 円
2	横浜開港 150 周年に伴うイメージ調査 (3月)	682,500 円
	横浜開港 150 周年に伴うイメージ調査 (10月)	945,000 円
	合計	5,722,500 円

市職員が調査・集計したもの、又は他の調査結果を活用したもの

	調査件名	契約金額
1	横浜開港 150 周年記念事業効果調査	委託なし (協力：市内各施設)
2	商店街等ヒアリング	委託なし (協力：各商店街等)
3	市民参加プロジェクト参加者アンケート	委託なし (協力：150 周年協会)
4	よこはま大学開港塾アンケート	委託なし (協力：都市経営局)
5	市民参加プロジェクト参加者グループインタビュー	横浜開港 150 周年 P R 関連業務委託成果の一部を活用
6	来街者アンケート	
7	ヨコハマ e アンケート	市民活力推進局の調査結果を活用
8	横浜市観光入込客数調査	経済観光局の調査結果を活用